

WEEKLY REPORT

<3月の諸事お祝い>



<本日のニコニコ発表: 沖昌彦委員>

■ 中原 光男 会員

先日(3月30日)金婚式を行いました。子供、孫10人が集まり楽しい一日でした。「上野 東天紅」で式を挙げて、50年、健康で元気に生まれたことに感謝、感謝であります。

■ 崎谷 延好 会員

誕生日を祝って頂きありがとうございます。21日で65才になり年金がもらえます。藤ヶ谷に行って帰りにオネエちゃんの所で飲むと終わってしまう金額ですが、頂けるものは頂いておこうと思います。

■ 小澤 盛明 会員

妻の誕生祝ありがとうございます。先日税務調査が終わりうきうきしていました。誕生日には食事に行きたいと思えます。

■ 高橋 修 会員

結婚記念日の花束ありがとうございます。もう何回目(39回目?)か忘れてしまいました。日一日を大事に生きていきたいと考えます。

■ 淵上 啓太 会員

55才になりました体調管理しっかりしてまだまだ頑張ります。又、結婚祝いをありがとうございます。

■ 大川 高明 会員

誕生日と結婚記念日のお祝いありがとうございます。明日は何年ぶりに家族3人で食事する予定です。

■ 大塚 精一 会員

結婚記念の花束を頂きありがとうございます。結婚から37年になります。それから私事ですが3月末を以て松戸市消防団を退任致しました。昭和51年4月1日の入団ですので43年間の消防団活動でした。記念に結婚祝と併せてニコニコさせていただきます。

社会奉仕基金2,658円

《会報編集委員》大川隆永・野澤新之助・高橋修・森谷充伯

Rotary  2018-2019年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2246回 例会 2019年4月3日(水)

- | | | |
|-------------------|---------|--|
| ■ 国際ロータリー会長 | バリー・ラシン | ■ 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30) |
| ■ 第2790地区ガバナー | 橋岡久太郎 | ■ 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」 |
| ■ 第13G アシスタントガバナー | 野村 充 | ■ 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 カライズ・ハイツ101 |
| ■ 松戸北ロータリークラブ会長 | 高橋 一彦 | ■ TEL/FAX - 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■ 松戸北ロータリークラブ幹事 | 小澤 直之 | ■ Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

WEEKLY REPORT

＜第2246回 例会プログラム＞

		司会 大塚精一
18:30	点鐘 国歌及びロータリーソング斉唱	高橋一彦 会長
18:35	会食	
19:00	会長挨拶・理事会報告 幹事報告	高橋一彦 会長 小澤直之 幹事
19:10	諸事御祝(9件) 出席・親睦活動委員会 社会奉仕基金発表 社会奉仕委員会 ニコニコ発表 ニコニコ委員会	淵上啓太 委員長 大川高明 副委員長 沖 昌彦 委員
19:30	点鐘	高橋一彦 会長

＜理事会報告:高橋一彦会長＞

◆第1号議案 青少年奉仕 年次総会についての報告

先般、地区青少年委員会より次年度ローターアクト関連の年次総会の案内がございました。当クラブの現状としまして関連事業が無い事、また今後に向けて奉仕事業の模索期間中である事から今期としての参加は見送る事と致しました。→ 承認



◆第2号議案 RI国際大会への委任状についての報告

RI国際大会への参加者無しにより代議員選出また地区ガバナー事務所への委任の件を報告致しました。当クラブは現在38名の会員構成ですので代議員1名の登録したことを報告します。

◆第3号議案 「夜間例会」について

一部会員より「年齢と共に夜間例会への参加が徐々に難しくなっているのでは対策を考えてみては如何か？」と、ご意見を頂いております。定款細則にも関わる大事な事であり、細則変更はかなり難題である。結果、少し時間をかけて様子をうかがう方向性で承認

＜クラブ会長挨拶:高橋一彦会長＞

皆様こんばんは。

今週4月1日に平成に代わる新しい年号として「令和」とされる事が発表されました。

現存する日本最古の歌集である「万葉集」からの出典であり、梅花の三十二首の序文の一部より意味づけを得ているとの説明もありました。

「時に、初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す。」

万葉集にお詳しい会員もおりますでしょうが、恥ずかしながら私も学生時代に授業で万葉集というものに触れただけなので奥の意味まで解釈するのは難しいです。

歌の意味に絡めて政府からは「国民が心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」とありました。

過去となる平成の時代にも世界情勢や国内での出来事、また各々個人にとってもいろいろとあったと思います。何れにせよ、「令和」と言う新しい年号への選考の意味もそうですが、どの時代においても努力あつての進展があり、その先に平和が訪れる事に希望を持ち、そこに携わる「人としての心構え」が大切になるのは必然です。

WEEKLY REPORT

私を含め、会員皆様におかれましても新しい時代に希望を持たれているかと存じますので、ロータリーを含め、共に安心できる平和な時代に向かい協力し合う事に期待しております。話しは変わり、参考ですが過去に昭和から平成に代わる時期に何方が会長をお勤めであったか計画書を覗いてみました。「平成」と言う元号が始まりましたのが1989年1月8日からですので、当時の変わり目での会長が坂田長作さん幹事が嶋村信也さんであり、平成での最初の会長が斎藤和實さんとございましたので、自クラブとして30年という長い歴史も伺えます。また話しは万葉集にもどりますが、梅花の歌三十二首の序を参考までに掲載させていただきますのでお読み頂ければと思います。報道などでは1文ですが現代語の訳文も添えておきますので意味を感じて頂ければと思います。

梅花(うめのはな)の歌三十二首并せて序

天平二年正月十三日に、師の老の宅に萃まりて、宴会を申く。
 時に、初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す。
 加之、曙の嶺に雲移り、松は羅を掛けて蓋を傾け、夕の岫に霧結び、鳥はうすもの
 のに封めらえて林に迷ふ。庭には新蝶舞ひ、空には故雁帰る。ここに天を蓋とし、地を
 座とし、膝を促け觴を飛ばす。言を一室の裏に忘れ、衿を煙霞の外に開く。淡然と自ら
 放にし、快然と自ら足る。若し翰苑にあらざれば、何を以ちてか情を述べむ。詩に落梅の
 篇を紀す。古と今とそれ何そ異ならむ。宜しく園の梅を賦して聊かに短詠を成すべし。

(以下訳文)

天平二年正月十三日に、大宰師の同伴旅人の邸宅に集まりて、宴会を開く。時に、初春の好き月にして、空気はよく風は爽やかに、梅は鏡の前の美女が装う白粉のように開き、蘭は身を飾った香のように薫っている。のみにあらず、明け方の嶺には雲が移り動き、松は薄絹のような雲を掛けてきぬがさを傾け、山のくぼみには霧がわだかまり、鳥は薄霧に封じ込められて林に迷っている。庭には蝶が舞ひ、空には年を越した雁が帰ろうと飛んでいる。ここに天をきぬがさとし、地を座として、膝を近づけ酒を交わす。人々は言葉を一室の裏に忘れ、胸襟を煙霞の外に開きあっている。淡然と自らの心のままに振る舞い、快くそれぞれがら満ち足りている。これを文筆にするのでなければ、どのようにして心を表現しよう。中国にも多くの落梅の詩がある。いにしへと現在と何の違ひがあるろう。よろしく園の梅を詠んでいささの短詠を作ろうではないか。

＜幹事報告:小澤直之幹事＞

■例会変更のお知らせ

松戸西ロータリークラブ

2019年4月16日(火)「夜間移動例会」へ変更

場所:びわ亭 18:30点鐘

2019年4月30日(火)

定款第8条第1節により休会

